



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年8月4日

上場会社名 株式会社 富山第一銀行 上場取引所 東
コード番号 7184 URL <https://www.first-bank.co.jp/>
代表者 (役職名) 取締役頭取 (氏名) 野村 充
問合せ先責任者 (役職名) 取締役総合企画部長 (氏名) 本多 力 TEL 076-461-3861
四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 —
特定取引勘定設置の有無 無
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	11,310	2.3	4,919	42.3	3,450	48.5
2023年3月期第1四半期	11,055	31.8	3,458	2.5	2,324	△7.1

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 17,354百万円 (392.5%) 2023年3月期第1四半期 3,523百万円 (△16.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	53.97	-
2023年3月期第1四半期	35.50	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	1,513,854	138,709	8.7
2023年3月期	1,485,657	122,292	7.7

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 131,507百万円 2023年3月期 115,122百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計-期末非支配株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	-	8.00	-	12.00	20.00
2024年3月期	-	-	-	-	-
2024年3月期(予想)	-	12.00	-	12.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,000	23.5	3,100	17.1	48.49
通期	8,000	26.5	5,000	18.9	78.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 -社（社名）-、除外 -社（社名）-

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期1Q	64,309,700株	2023年3月期	67,309,700株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	551,294株	2023年3月期	3,302,504株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期1Q	63,920,415株	2023年3月期1Q	65,466,765株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により、大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(追加情報)	5
※ 補足資料.....	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第1四半期の連結経営成績につきましては、経常収益は貸出金利息及び株式等売却益の増加により、前年同期比2億55百万円増加し113億10百万円となりました。

経常費用は、国債等債券償還損の減少により、前年同期比12億6百万円減少し63億91百万円となりました。

以上の結果、経常利益は前年同期比14億61百万円増加し49億19百万円となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比11億26百万円増加し34億50百万円となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第1四半期の連結財政状態につきましては、総資産は前連結会計年度末比281億円増加し1兆5,138億円となりました。貸出金は前連結会計年度末比27億円減少し9,353億円、有価証券は同212億円増加し4,682億円、預金等（譲渡性預金を含む）は同35億円増加し1兆3,318億円となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当行の収益状況および事業環境を踏まえた結果、2024年3月期第2四半期連結累計期間および通期の業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表の「業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
現金預け金	74,901	88,152
商品有価証券	61	27
金銭の信託	700	700
有価証券	447,052	468,264
貸出金	938,090	935,343
外国為替	1,932	1,917
リース債権及びリース投資資産	9,877	9,950
その他資産	11,014	7,690
有形固定資産	8,348	8,223
無形固定資産	762	970
退職給付に係る資産	165	179
繰延税金資産	59	47
支払承諾見返	2,408	2,390
貸倒引当金	△9,718	△10,004
資産の部合計	1,485,657	1,513,854
負債の部		
預金	1,248,281	1,311,841
譲渡性預金	80,000	20,000
借入金	23,965	21,860
その他負債	2,929	7,242
役員賞与引当金	22	7
退職給付に係る負債	235	191
睡眠預金払戻損失引当金	68	66
偶発損失引当金	580	604
繰延税金負債	4,305	10,371
再評価に係る繰延税金負債	567	567
支払承諾	2,408	2,390
負債の部合計	1,363,364	1,375,145
純資産の部		
資本金	10,182	10,182
資本剰余金	6,291	6,266
利益剰余金	83,308	84,811
自己株式	△1,298	△258
株主資本合計	98,483	101,002
その他有価証券評価差額金	15,783	29,611
土地再評価差額金	1,080	1,080
退職給付に係る調整累計額	△225	△187
その他の包括利益累計額合計	16,638	30,504
非支配株主持分	7,169	7,202
純資産の部合計	122,292	138,709
負債及び純資産の部合計	1,485,657	1,513,854

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
経常収益	11,055	11,310
資金運用収益	5,507	5,457
(うち貸出金利息)	2,026	2,265
(うち有価証券利息配当金)	3,465	3,180
役務取引等収益	586	601
その他業務収益	4,472	1,882
その他経常収益	489	3,369
経常費用	7,597	6,391
資金調達費用	47	42
(うち預金利息)	40	35
役務取引等費用	237	253
その他業務費用	3,767	2,601
営業経費	2,987	3,056
その他経常費用	557	436
経常利益	3,458	4,919
特別損失	238	0
固定資産処分損	1	0
減損損失	236	—
税金等調整前四半期純利益	3,219	4,919
法人税、住民税及び事業税	997	1,419
法人税等調整額	△141	13
法人税等合計	855	1,433
四半期純利益	2,364	3,486
非支配株主に帰属する四半期純利益	40	36
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,324	3,450

(四半期連結包括利益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	2,364	3,486
その他の包括利益	1,159	13,868
その他有価証券評価差額金	1,143	13,830
退職給付に係る調整額	15	37
四半期包括利益	3,523	17,354
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,964	17,315
非支配株主に係る四半期包括利益	△440	38

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当行は、2023年4月28日開催の取締役会決議に基づき、自己株式247,900株の取得及び自己株式3,000,000株の消却を行いました。自己株式の取得により、自己株式が163百万円増加し、自己株式の消却により、資本剰余金及び自己株式がそれぞれ1,203百万円減少しました。

自己株式の消却により、資本剰余金のうちその他資本剰余金の残高が△1,178百万円となったため、その他資本剰余金を零とし当該負の値をその他利益剰余金から減額しております。

この結果等により、当第1四半期連結会計期間末において、資本剰余金は前連結会計年度から24百万円減少し6,266百万円、利益剰余金は1,503百万円増加し84,811百万円、自己株式は1,040百万円減少し258百万円となりました。

（追加情報）

新型コロナウイルス感染症の影響

前連結会計年度の有価証券報告書の（重要な会計上の見積り）に記載した新型コロナウイルス感染症の影響に関する仮定は、直近の新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ見直しを行った結果、重要な変更を行っておりません。

※ 補足資料

2 0 2 4 年 3 月 期
第 1 四 半 期 決 算 説 明 資 料

株 式 会 社 富 山 第 一 銀 行

2024年3月期第1四半期決算説明資料

1. 損益概況【単体】

当第1四半期の損益については、経常利益が前年同期比14億77百万円増加し48億47百万円、四半期純利益は前年同期比11億34百万円増加し34億40百万円と、第1四半期としては過去最高益となりました。

その内訳として、業務粗利益は国債等債券損益の減少を主要因として、前年同期比14億59百万円減少し48億97百万円となりました。

一方、臨時損益は株式等関係損益の増加等により、前年同期比30億71百万円増加し27億27百万円の利益となりました。

(単位：百万円)

	2024年3月期 第1四半期 (3ヵ月間)		2023年3月期 第1四半期 (3ヵ月間)	2024年3月期 第2四半期 業績予想 (6ヵ月間)
		前年同期比		
経常収益	9,969	214	9,754	
業務粗利益	4,897	△ 1,459	6,357	
資金利益	5,390	△ 36	5,427	
役務取引等利益	346	1	345	
その他業務利益	△ 839	△ 1,424	584	
うち国債等債券損益	△ 639	△ 1,093	454	
経費（除く臨時処理分）(△)	2,901	25	2,875	
人件費	1,325	0	1,325	
物件費	1,306	16	1,290	
税金	268	9	259	
業務純益（一般貸倒引当金繰入前）	1,995	△ 1,485	3,481	
コア業務純益	2,635	△ 392	3,027	
除く投資信託解約損益	2,535	143	2,392	
一般貸倒引当金繰入額①(△)	△ 123	108	△ 231	
業務純益	2,119	△ 1,594	3,713	
臨時損益	2,727	3,071	△ 343	
うち株式等関係損益	3,133	2,769	364	
うち不良債権処理額②(△)	463	△ 196	660	
うち償却債権取立益③	140	122	18	
経常利益	4,847	1,477	3,369	4,900
特別損益	△ 0	238	△ 238	
税引前四半期純利益	4,847	1,715	3,131	
法人税、住民税及び事業税(△)	1,407	425	981	
法人税等調整額(△)	△ 0	154	△ 155	
四半期（中間）純利益	3,440	1,134	2,305	3,000
与信関係費用（①＋②－③）	199	△ 210	409	

(注) 1 コア業務純益＝業務純益（一般貸倒引当金繰入前）－国債等債券損益

2 2024年3月期第2四半期業績予想は、2023年8月4日に公表したものであります。

2. 有価証券の評価損益 【単体】

有価証券の評価損益は、株式の評価損益の増加を主要因として、2022年6月末比では156億25百万円増加、2023年3月末比では199億12百万円増加し、408億78百万円となりました。

(単位：百万円)

	2023年6月末			2022年6月末			2023年3月末		
	評価損益	評価益	評価損	評価損益	評価益	評価損	評価損益	評価益	評価損
満期保有目的	165	263	98	208	290	82	128	243	114
その他有価証券	40,712	48,822	8,109	25,045	40,748	15,703	20,836	34,093	13,256
株式	30,386	32,885	2,498	13,830	21,767	7,937	19,367	24,245	4,878
債券	6	583	577	△ 411	777	1,188	△ 105	605	711
その他	10,320	15,353	5,033	11,626	18,203	6,577	1,574	9,241	7,666
合 計	40,878	49,086	8,208	25,253	41,039	15,786	20,965	34,336	13,371
株式	30,386	32,885	2,498	13,830	21,767	7,937	19,367	24,245	4,878
債券	171	846	675	△ 205	1,066	1,271	23	848	825
その他	10,320	15,354	5,033	11,628	18,205	6,577	1,575	9,242	7,666

(注) 「その他有価証券」については、時価評価しておりますので、上記の表上は貸借対照表価額と取得価額との差額を計上しております。

3. 預金・貸出金の残高等【単体】

(1) 主要勘定末残高及び増減状況

預金等(譲渡性預金含む)残高は、法人預金の増加等により、前年同期末比87億61百万円増加し1兆3,322億97百万円となりました。

貸出金残高は、住宅ローン及び事業者向け貸出金の増加等により、前年同期末比473億77百万円増加し9,522億67百万円となりました。

有価証券残高は、金利リスクの軽減を図った結果、国債及び地方債が減少し、前年同期末比142億38百万円減少し4,501億52百万円となりました。

	2023年6月末		2022年6月末	(参考)
		前年同期末比		2023年3月末
預金等	1,332,297	8,761	1,323,535	1,329,000
預金	1,312,297	20,761	1,291,535	1,249,000
譲渡性預金	20,000	△ 12,000	32,000	80,000
貸出金	952,267	47,377	904,889	954,686
有価証券	450,152	△ 14,238	464,390	429,266

(2) 個人預り資産の残高

個人預り資産残高は、投資信託・年金保険の増加により、前年同期末比46億71百万円増加し1,063億37百万円となりました。

	2023年6月末		2022年6月末	(参考)
		前年同期末比		2023年3月末
個人預り資産	106,337	4,671	101,666	103,215
公債	2,447	71	2,375	2,473
投資信託	42,175	2,526	39,648	39,824
年金保険	61,715	2,073	59,641	60,917

(3) 消費者ローン残高

	2023年6月末		2022年6月末	(参考)
		前年同期末比		2023年3月末
消費者ローン残高	222,503	26,112	196,390	217,540
住宅ローン残高	208,767	27,250	181,517	203,703
その他ローン残高	13,735	△ 1,137	14,873	13,836

4. 銀行法及び金融再生法に基づく債権【単体】

金融再生法ベースの開示債権は、前年同期末比で11億47百万円増加し264億7百万円となりました。一方、総与信残高に占める割合は、前年同期末比0.03ポイント減少し2.74%となりました。

	2023年6月末		2022年6月末	(参考)
		前年同期末比		2023年3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	6,130	645	5,485	5,936
危険債権	18,007	813	17,193	18,526
要管理債権	2,268	△ 312	2,581	2,330
三月以上延滞債権	73	△ 56	130	27
貸出条件緩和債権	2,195	△ 255	2,451	2,302
小計①	26,407	1,147	25,260	26,793
正常債権	933,868	47,354	886,514	935,384
総与信残高②	960,276	48,502	911,774	962,178
総与信残高比率①÷②	2.74%	△ 0.03%	2.77%	2.78%

5. 自己資本比率（国内基準）

2023年6月末の自己資本比率（国内基準）は、単体で11.70%、連結で11.82%となり、いずれも高水準を維持しております。

	【単体】		2022年6月末	(参考)
	2023年6月末	前年同期末比		2023年3月末
(1)自己資本比率(4)/(5)	11.70%	△ 0.18%	11.88%	11.29%
(2)コア資本に係る基礎項目	101,092	3,921	97,170	97,938
(3)コア資本に係る調整項目	1,277	178	1,099	1,076
(4)自己資本計(2)-(3)	99,814	3,743	96,071	96,862
(5)リスクアセット	852,474	44,180	808,294	857,681

	【連結】		2022年6月末	(参考)
	2023年6月末	前年同期末比		2023年3月末
(1)自己資本比率(4)/(5)	11.82%	△ 0.23%	12.05%	11.41%
(2)コア資本に係る基礎項目	104,112	3,545	100,567	100,925
(3)コア資本に係る調整項目	1,149	166	982	927
(4)自己資本計(2)-(3)	102,962	3,378	99,584	99,997
(5)リスクアセット	870,477	44,115	826,361	875,792